

<資料2-1（子宮頸がん）>

子宮頸がん			No.	4	10	12	13	16	19	25	28	29	31	35	39	46	49	55	57	62	67	70	70	75	85	85	
			所属地区医師会 施設区分	診療所	診療所	病院	診療所	病院	診療所	病院	診療所	病院	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	
88.8%			検診機関名	KIN放射線治療・健診クリニック	かじまやリゾートクリニック	北部地区医師会病院	連立産婦人科医院	名城病院	中部産婦人科医院	中頭病院	ちばなクリニック健康管理中心	中部協同病院	ゆいクリニック	美里女性クリニック	愛知クリニック	いなふくクリニック	古堅ウィメンズクリニック	アドベンチストメディカルセンター	ハートライフ病院	うえむら病院	やびく産婦人科・小児科	中部徳洲会病院（中部地区医師会）	中部徳洲会病院（那覇市医師会）	浦添総合病院健診センター	Naoko女性クリニック（CRG）	Naoko女性クリニック（中部地区医師会）	
回収率 86.2%			遵守率	100.0%		100.0%	92.9%	96.9%		82.6%	86.2%	93.3%	89.7%	96.9%	96.9%	96.9%	93.3%	100.0%	96.4%		94.8%	86.2%	89.3%	96.4%	89.3%	86.2%	
1 受診者への説明	(1)	がん検診に関する資料を検診機関に来院した対象者全員に検査を受ける前に配布していますか？	89.3%	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(2)	検診機関に来院した対象者に配布する資料として、市町村（集合契約の場合は地区医師会）から参考資料1の提供を受けていますか？	87.5%	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		検診機関に来院した対象者に配布する資料には下記の内容が記載されていますか？ ※検査後に資料を配布している場合や資料を配布していない場合は本設問は全て「×」とご回答ください。 ※参考資料1を配布している場合は本設問は全て「○」とご回答ください。		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	a	検診結果は「精密検査不要」「要精密検査」のいずれかの区分で報告されること	87.5%	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	b	要精密検査となった場合、必ず精密検査を受ける必要があること	87.5%	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	c	精密検査の方法（コルポスコプ下の組織診や細胞診、HPV検査などを組み合わせたものを実施すること、及びこれらの検査の概要）	87.5%	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	d	精密検査結果は市町村へ報告することに加えて、他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、その結果を検診機関が共有すること	85.7%	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	e	検査の有効性（細胞診による子宮頸がん検診は子宮頸がんの死亡率・罹患率を減少させること）と、がん検診の不利益（がん検診で必ずがんや前がん病変を見つけれられるわけではないこと（偽陰性）、がんや前がん病変がなくてもがん検診の結果が「要精密検査」となる場合があること（偽陽性））	87.5%	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	f	検診間隔は2年に1回であり、受診の継続が重要であること、症状がある場合は医療機関の受診が重要であること	87.5%	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	g	子宮頸がんの罹患は我が国の女性のがんの中で多いことに加えて、近年の罹患や死亡の動向など	87.5%	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		遵守率	87.5%	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	(1)	検診は、以下の項目を実施していますか？		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	a	問診	100.0%	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	b	視診	100.0%	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	c	産婦人科医師による子宮頸部及び陰部表面からの検体採取による細胞診	100.0%			○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
2 問診・細胞診の検体採取の精度管理	(2)	細胞診の方法（従来法/液状検体法、採取器具）について、市町村（集合契約の場合は地区医師会）と検診機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。	87.5%	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
	(3)	検体採取は、直視下に子宮頸部及び陰部表面の全面擦過により細胞を採取し、迅速に処理（固定など）していますか？	100.0%	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(4)	検体が不適正との判定を受けた場合は、再度検体採取を行っていますか？ 不適正例がない場合でも、再度検体採取を行う体制はありますか？	96.4%	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(5)	検体が不適正との判定を受けた場合は、その原因等を検討し、対策を講じていますか？ 不適正例がない場合でも、対策を講じる体制はありますか？	98.2%	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(6)	検診結果は少なくとも5年間保存していますか？	98.2%	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(7)	問診は、「月経の状況」、「妊娠中の場合は妊娠週数」、「分娩歴」、「性交経歴の有無」、「不正性器出血等の症状の有無」、「過去の検診受診状況」等を聴取していますか？	98.2%	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(8)	問診の上、症状がある受診者には、適切な医療機関への受診勧奨を行っていますか？	100.0%	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(9)	問診記録は少なくとも5年間保存していますか？	100.0%	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(10)	視診は陰鏡を導入し、子宮頸部の状況を観察しましたか？	98.2%	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		遵守率	98.1%	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		91.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
(1)	細胞診検査業務の外部施設委託について番号でお答えください。 ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入下さい。 ①細胞診検査業務を外部委託していない（自院にて細胞診判定実施） ②細胞診検査業務を外部委託している		2 中部病理		1 北部地区医師会	2 中部地区医師会			2 中部地区医師会	2 中部地区医師会	2 中部地区医師会	2 中部地区医師会	2 中部地区医師会	2 中部地区医師会	2 中部地区医師会	2 中部地区医師会	2 中部地区医師会	2 中部地区医師会	2 中部地区医師会	2 中部地区医師会	1.2 中部地区医師会	1.2 那覇市医師会	2 BML	2 CRC	2 中部地区医師会		
(2)	(1)で②（細胞診検査業務を外部委託している）とお答えした施設にお伺いします。 細胞診検査業務の委託機関名は、市町村（集合契約の場合は地区医師会）と検診機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば×と回答してください。	85.7%	○		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(1)で①（細胞診検査業務を外部委託していない）とお答えした施設にお伺いします。		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
a	細胞診判定施設は、公益社団法人日本臨床細胞学会の施設認定を受けていますか？	57.1%	×		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	×	×		○	○	×	○	○	○	
b	(3)-aで「×」と回答した施設にお伺いします。 公益社団法人日本臨床細胞学会の認定を受けた細胞診専門医と細胞検査士が連携して検査を行っていますか？	100.0%	○															○	○			○					
c	細胞診陰性と判断された検体の10%以上について、再スクリーニングを行っていますか？	98.2%	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
d	市町村、医師会等に再スクリーニング施行事を報告できる体制はありますか？	94.6%	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
e	細胞診結果の報告には、ベセスダシステムを用いていますか？	100.0%	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
f	全ての子宮頸がん検診標本の状態について、ベセスダシステムの基準に基づいて適正・不適正のいずれかに分類し、細胞診結果に明記しましたか？※※必ず全ての標本について実施すること。一部でも実施しない場合は不適切です（本調査には「×」と回答してください）。	100.0%	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
g	子宮頸部上皮内腫瘍3（CIN3）、子宮頸部上皮内腺がん（AIS）、子宮頸部浸潤がん発見例は、過去の細胞所見の見直しを行う体制がありますか？ ※CIN3、AIS、子宮頸部浸潤がんの発見例については必ず見直すこと。一部でも実施しない場合は本設問には「×」とご回答ください。	66.1%	○		○	○	○	×		×	×	×	×	×	×	×	×	○	○		×	×	○	○	○	×	
h	標本は少なくとも5年間保存していますか？	100.0%	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	遵守率	89.1%	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	87.5%		87.5%	87.5%	87.5%	87.5%	87.5%	87.5%	87.5%	87.5%	100.0%	100.0%		87.5%	87.5%	100.0%	100.0%	100.0%	87.5%	
4 システムとしての精度管理	(1)	受診者への結果の通知・説明は自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている ②行っていない		中部地区医師会		1 北部地区医師会	2 中部地区医師会			2 中部地区医師会	2 中部地区医師会	2 中部地区医師会	2 中部地区医師会	2 中部地区医師会	2 中部地区医師会	2 中部地区医師会	2 中部地区医師会	2 中部地区医師会	1.2 那覇市医師会、中部地区医師会	1		2 中部地区医師会	1.2 中部地区医師会	1.2 那覇市医師会	1 BML	1 CRC	2 中部地区医師会
	(2)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市町村への結果報告は、検診受診後4週間以内に行われていますか？ ※(1)で②（行っていない）と回答した場合は、結果通知の委託先に確認してお答えください。	94.6%	○		○	○	○			○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	(3)	昨年度（令和5年度）の貴施設の受診者数、要精検者数、精検受診者数、発見者数を市町村（集合契約の場合は地区医師会）に報告しましたか？ ※集合契約で地区医師会が事務代行し市町村への報告を行っていることを確認している場合は、「○」と回答してください。	98.1%	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(4)	要精密検査となった受診者の精密検査方法及び精密検査（治療）結果（精密検査の際に行ったHPV検査の結果、子宮頸部の細胞診や組織診の結果																									

子宮頸がん		No.	95	103	113	113	116	118	120	123	130	149	151	159	161	162	171	174	181	188	194	200	201	213	217	
		所属地区医師会 施設区分	浦添 診療所	那覇 診療所	那覇 診療所	那覇 診療所	那覇市立 病院	那覇 診療所	那覇 診療所	那覇 病院	那覇 診療所	那覇 診療所	那覇 診療所	那覇 診療所	那覇 診療所	那覇 診療所	那覇西ク リニック まかび	新田クリ ニック	メディカ ルプラザ 大道中央	大浜第一 病院	糸数病院	徳洲会新 都心クリ ニック	沖縄赤十 字病院	かみや母 と子のク リニック	沖縄県健 康づくり 財団	空の森ク リニック (中部地 区医師会)
88.8%		検診機関名	パーク レーレ ディース クリニック	仲地レ ディース クリニック	Joyレ ディース クリニック くもじ(那 覇市医師 会)	Joyレ ディース クリニック くもじ (ORC)	那覇市立 病院	美代子ク リニック	友利産婦 人科	沖縄協同 病院	嶺井医院	伊波レ ディース クリニック	和ウィメ ンズクリ ニック	たから産 婦人科	安座間産 婦人科	那覇西ク リニック まかび	新田クリ ニック	メディカ ルプラザ 大道中央	大浜第一 病院	糸数病院	徳洲会新 都心クリ ニック	沖縄赤十 字病院	かみや母 と子のク リニック	沖縄県健 康づくり 財団	空の森ク リニック (中部地 区医師会)	
回収率 86.2%		遵守率	96.9%	85.7%	96.4%	96.4%	58.5%	96.4%		81.8%	92.9%	92.9%	93.3%	62.6%	100.0%	66.7%		96.4%	89.3%	96.4%	80.5%		86.2%	100.0%	89.7%	
1 受診者へ の説明	(1)	がん検診に関する資料を検診機関に来場した対象者全員に検査を受ける前に配布していますか？	89.3%	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×		○	○	○	○		○	○	○	
	(2)	検診機関に来場した対象者に配布する資料として、市町村(集合契約の場合は地区医師会)から参考資料1の提供を受けていますか？	87.5%	○	○	○	○	○	○		×	○	○	○	○	○	×		○	○	○	○		○	×	○
		検診機関に来場した対象者に配布する資料には下記の内容が記載されていますか？ ※検査後に資料を配布している場合や資料を配布していない場合は本設問は全て「×」とご回答ください。 ※参考資料1を配布している場合は本設問は全て「○」とご回答ください。		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	a	検診結果は「精密検査不要」「要精密検査」のいずれかの区分で報告されること	87.5%	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×		○	○	○	○		○	○	○
	b	要精密検査となった場合、必ず精密検査を受ける必要があること	87.5%	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×		○	○	○	○		○	○	○
	c	精密検査の方法(コルポスコプ下の組織診や細胞診、HPV検査などを組み合わせたものを実施すること、及びこれらの検査の概要)	87.5%	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×		○	○	○	○		○	○	○
	d	精密検査結果は市町村へ報告することに加えて、他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、その結果を検診機関が共有すること	85.7%	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×		○	○	○	○		○	○	○
	e	検査の有効性(細胞診による子宮頸がん検診は子宮頸がんの死亡率・罹患率を減少させること)、がん検診の不利益(がん検診で必ずがんや前がん病変を見つけられないこと(偽陰性)、がんや前がん病変がなくてもがん検診の結果が「要精密検査」となる場合があること(偽陽性))	87.5%	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×		○	○	○	○		○	○	○
	f	検診間隔は2年に1回であり、受診の継続が重要であること、症状がある場合は医療機関の受診が重要であること	87.5%	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×		○	○	○	○		○	○	○
	g	子宮頸がんの罹患は我が国の女性のがんの中で多いことに加えて、近年の罹患や死亡の動向など	87.5%	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×		○	○	○	○		○	○	○
遵守率		87.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	87.5%	0.0%	100.0%	0.0%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	
(1)	a	問診	100.0%	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○
	b	視診	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○
	c	産婦人科医師による子宮頸部及び陰部表面からの検体採取による細胞診	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○
	(2)	細胞診の方法(従来法/液状検体法、採取器具)について、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検診機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。	87.5%	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	○		○	○	○	×		○	○	○
	(3)	検体採取は、直視下に子宮頸部及び陰部表面の全面擦過により細胞を採取し、迅速に処理(固定など)していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○
2 問診・ 細胞診 の検体 採取の 精度管理	(4)	検体が不適正との判定を受けた場合は、再度検体採取を行っていますか？ 不適正例がない場合でも、再度検体採取を行う体制はありますか？	96.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○
	(5)	検体が不適正との判定を受けた場合は、その原因等を検討し、対策を講じていますか？ 不適正例がない場合でも、対策を講じる体制はありますか？	98.2%	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○
	(6)	検診結果は少なくとも5年間保存していますか？	98.2%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○
	(7)	問診は、「月経の状況」、「妊娠中の場合は妊娠週数」、「分娩歴」、「性交経歴の有無」、「不正性器出血等の症状の有無」、「過去の検診受診状況」等を聴取していますか？	98.2%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○
	(8)	問診の上、症状がある受診者には、適切な医療機関への受診勧奨を行っていますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○
	(9)	問診記録は少なくとも5年間保存していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○
	(10)	視診は陰鏡を挿入し、子宮頸部の状況を観察しましたか？	98.2%	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○
	遵守率		98.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	75.0%	100.0%		91.7%	100.0%	100.0%	100.0%	91.7%	100.0%	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%
	3 細胞診判定 の精度管理	(1)	細胞診検査業務の外部施設委託について番号でお答えください。 ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入下さい。 ①細胞診検査業務を外部委託していない(自院にて細胞診判定実施) ②細胞診検査業務を外部委託している		2	2	2	2	1	2		1	2	2	2	2	2		2	2	2	2		2	1	2
		(2)	(1)で②(細胞診検査業務を外部委託している)とお答えした施設にお伺いします。 細胞診検査業務の委託機関名は、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検診機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば×と回答してください。	85.7%	○	○	○	○		○		○	○	○	○	×	○	○		○	○	○	×		○	
		(1)で①(細胞診検査業務を外部委託していない)とお答えした施設にお伺いします。		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
a		細胞診判定施設は、公益社団法人日本臨床細胞学会の施設認定を受けていますか？	57.1%	○	×	×	○	○	×		○	×	×	×	×	×	×		×	×	×	○		×	○	○
b		(3)-aで「×」と回答した施設にお伺いします。 公益社団法人日本臨床細胞学会の認定を受けた細胞診専門医と細胞検査士が連携して検査を行っていますか？	100.0%			○	○		○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○		
c		細胞診陰性と判断された検体の10%以上について、再スクリーニングを行っていますか？	98.2%	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○
d		市町村、医師会等に再スクリーニング施行率を報告できる体制はありますか？	94.6%	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○
e		細胞診結果の報告には、ベセスダシステムを用いていますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○
f		全ての子宮頸がん検診標本の状態について、ベセスダシステムの基準に基づいて適正・不適正のいずれかに分類し、細胞診結果に明記しましたか？※ ※必ず全ての標本について実施すること。一部でも実施しない場合は不適切です(本調査には「×」と回答してください)。	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○
g		子宮頸部上皮内腫瘍3(CIN3)、子宮頸部上皮内腺がん(AIS)、子宮頸部浸潤がん発見例は、過去の細胞所見の見直しを行う体制がありますか？ ※CIN3、AIS、子宮頸部浸潤がんの発見例については必ず見直すこと。一部でも実施しない場合は本設問には「×」とご回答ください。	66.1%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		×	○	×
h	標本は少なくとも5年間保存していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	
遵守率		89.1%	87.5%	100.0%	100.0%	100.0%	71.4%	100.0%		85.7%	100.0%	100.0%	100.0%	87.5%	100.0%	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	87.5%		87.5%	100.0%	87.5%	
4 システム としての 精度管理	(1)	受診者への結果の通知・説明は自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている ②行っていない		2	1	1.2	1.2	1	2		1	2	2	1	2	2	1		1	1	2	1		1	1	2
	(2)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市町村への結果報告は、検診受診後4週間以内に行われていますか？ ※(1)で②(行っていない)と回答した場合は、結果通知の委託先に確認してお答えください。	94.6%	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○
	(3)	昨年度(令和5年度)の貴施設の受診者数、要精検者数、精検受診者数、発見者数を市町村(集合契約の場合は地区医師会)に報告しましたか？ ※集合契約で地区医師会が事務代行し市町村への報告を行っていることを確認している場合は、「○」と回答してください。	98.1%	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	/		○	○	○	○		○	○	○
	(4)	要精密検査となった受診者の精密検査方法及び精密検査(治療)結果(精密検査の際に行ったHPV検査の結果、子宮頸部の細胞診や組織診の結果、手術によって判明した組織診断や臨床進行期など)※を把握していますか？もしくは把握する体制がありますか？ ※市町村が行う地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す。 ※集合契約で地区医師会が事務代行している場合も、把握の体制の有無についてご回答ください。	87.5%	○	○	○	○	○	○		○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○
	a	自施設以外の子宮頸がん専門家を自施設内に設置していますか？ ※自施設で細胞診判定を行っていない場合は回答不要です。	14.3%	/	/	/	/	×	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	b	細胞診判定を行う医師は、昨年度(令和5年度)において、診断・判定の精度向上																								

子宮頸がん			No.	217	218	219	220	221	222	226	229	233	235	237	239	240	252	266	267	296	296	297	
			所属地区医師会	南部	南部	南部	南部	南部	南部	宮古	宮古	宮古	八重山	那覇	那覇	中部	中部	八重山	北部	那覇	清瀬	清瀬	北部
			施設区分	診療所	病院	病院	診療所	診療所	病院	診療所	診療所	診療所	病院	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	
88.8%			検査機関名	空の森ク リニック (那覇市 医師会)	南部徳洲 会病院	とよみ生 協病院	豊見城南 中央病院付 属健康管理 センター	Fクリニッ ク沖縄	与那原中 央病院	城辺中央 クリニック	奥平産婦 人科医院	みやぎ Ms.クリ ニック	かりゆし 病院	那覇市医 師会生活 習慣病検 診センター	中部地区 医師会検 診センタ ー	まつだク リニック	まつをし レディース クリニック	美ら海ハ シイ産婦 人科	ウイメン ズクリニ ック系 数	乳腺・甲 状腺クリ ニックう らそえ (那覇市 医師会)	乳腺・甲 状腺クリ ニックう らそえ (中部地 区医師 会)	みちこ女 性クリニ ック	
回収率 86.2%			遵守率	92.9%	96.4%	93.8%		89.3%	87.6%	96.4%	82.6%		62.5%	92.7%	89.7%		61.2%	59.1%	100.0%	87.9%	84.8%	71.9%	
1 受診者への説明	(1)	がん検診に関する資料を検診機関に来院した対象者全員に検査を受ける前に配布していますか？	89.3%	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○		×	×	○	○	○	×	
	(2)	検診機関に来院した対象者に配布する資料として、市町村(集合契約の場合は地区医師会)から参考資料1の提供を受けていますか？	87.5%	○	○	○		○	○	○	○		○	×	○		×	×	○	○	○	×	
		検診機関に来院した対象者に配布する資料には下記の内容が記載されていますか？ ※検査後に資料を配布している場合や資料を配布していない場合は本設問は全て「×」とご回答ください。 ※参考資料1を配布している場合は本設問は全て「○」とご回答ください。		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	a	検診結果は「精密検査不要」「要精密検査」のいずれかの区分で報告されること	87.5%	○	○	○		○	○	○	○		×	○	○		×	×	○	○	○	×	
	b	要精密検査となった場合、必ず精密検査を受ける必要があること	87.5%	○	○	○		○	○	○	○		×	○	○		×	×	○	○	○	×	
	c	精密検査の方法(コルポスコプ下の組織診や細胞診、HPV検査などを組み合わせたものを実施すること、及びこれらの検査の概要)	87.5%	○	○	○		○	○	○	○		×	○	○		×	×	○	○	○	×	
	d	精密検査結果は市町村へ報告することに加えて、他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、その結果を検診機関が共有すること	85.7%	○	○	○		○	○	○	○		×	○	○		×	×	○	○	○	×	
	e	検査の有効性(細胞診による子宮頸がん検診は子宮頸がんの死亡率・罹患率を減少させること)と、がん検診の不利益(がん検診で必ずがんや前がん病変を見つけれないこと(偽陰性)、がんや前がん病変がなくてもがん検診の結果が「要精密検査」となる場合があること(偽陽性))	87.5%	○	○	○		○	○	○	○		×	○	○		×	×	○	○	○	×	
	f	検診間隔は2年に1回であり、受診の継続が重要であること、症状がある場合は医療機関を受診が重要であること	87.5%	○	○	○		○	○	○	○		×	○	○		×	×	○	○	○	×	
	g	子宮頸がんの罹患は我が国の女性のがんの中で多いことに加えて、近年の罹患や死亡の動向など	87.5%	○	○	○		○	○	○	○		×	○	○		×	×	○	○	○	×	
遵守率			87.5%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		0.0%	100.0%	100.0%		0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	
2 問診、細胞診の検体採取の精度管理	(1)	検診は、以下の項目を実施していますか？		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	a	問診	100.0%	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	
	b	視診	100.0%	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	
	c	産婦人科医師による子宮頸部及び陰部表面からの検体採取による細胞診	100.0%	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	
	(2)	細胞診の方法(従来法/液状検体法、採取器具)について、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検診機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば×と回答してください。	87.5%	○	○	○		○	×	○	○		○	×	○		○	○	○	○	○	○	
	(3)	検体採取は、直視下に子宮頸部及び陰部表面の全面擦過により細胞を採取し、迅速に処理(固定など)していますか？	100.0%	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	
	(4)	検体が不適正との判定を受けた場合は、再度検体採取を行っていますか？ 不適正例がない場合でも、再度検体採取を行う体制はありますか？	96.4%	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	×	×	○	
	(5)	検体が不適正との判定を受けた場合は、その原因等を検討し、対策を講じていますか？ 不適正例がない場合でも、対策を講じる体制はありますか？	98.2%	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	
	(6)	検診結果は少なくとも5年間保存していますか？	98.2%	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○		○	×	○	○	○	○	
	(7)	問診は、「月経の状況」、「妊娠中の場合は妊娠週数」、「分娩歴」、「性交経歴の有無」、「不正性器出血等の症状の有無」、「過去の検診受診状況」等を聴取していますか？	98.2%	○	○	○		○	○	○	○		○	×	○		○	○	○	○	○	○	
(8)	問診の上、症状がある受診者には、適切な医療機関への受診勧奨を行っていますか？	100.0%	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○		
(9)	問診記録は少なくとも5年間保存していますか？	100.0%	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○		
(10)	視診は陰鏡を導入し、子宮頸部の状況を観察しましたか？	98.2%	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○		
遵守率			98.1%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	91.7%	100.0%	100.0%		100.0%	83.3%	100.0%		100.0%	91.7%	100.0%	91.7%	91.7%	100.0%	
3 細胞診判定の精度管理	(1)	細胞診検査業務の外部施設委託について番号でお答えください。 ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入下さい。 ①細胞診検査業務を外部委託していない(自院にて細胞診判定実施) ②細胞診検査業務を外部委託している		2 那覇市医師会	1	1		2 CRC	2 那覇市医師会	2 CRC	2 CRC		2 PCL JAPAN病理細胞診センター	2 SRL	1		2 CRC	2 中部地区医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 中部地区医師会	2 ファルコバイオシステムズ	
	(2)	(1)で②(細胞診検査業務を外部委託している)とお答えした施設にお伺いします。 細胞診検査業務の委託機関名は、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検診機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば×と回答してください。	85.7%	○				○	×	○	×		×	×			×	○	○	○	○	○	
		(1)で①(細胞診検査業務を外部委託していない)とお答えした施設にお伺いします。		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	a	細胞診判定施設は、公益社団法人日本臨床細胞学会の施設認定を受けていますか？	57.1%	×	×	○		○	×	○	○		○	×	○		○	○	×	×	○	×	
	b	(3)-aで「×」と回答した施設にお伺いします。 公益社団法人日本臨床細胞学会の認定を受けた細胞診専門医と細胞検査士が連携して検査を行っていますか？	100.0%	○	○				○					○				○	○	○	○	○	
	c	細胞診陰性と判断された検体の10%以上について、再スクリーニングを行っていますか？	98.2%	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	
	d	市町村、医師会等に再スクリーニング施行率を報告できる体制はありますか？	94.6%	○	×	○		○	○	○	○		○	○	×		○	○	○	○	○	○	
	e	細胞診結果の報告には、ベセスダシステムを用いていますか？	100.0%	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	
	f	全ての子宮頸がん検診標本の状態について、ベセスダシステムの基準に基づいて適正・不適正のいずれかに分類し、細胞診結果に明記しましたか？※ ※必ず全ての標本について実施すること。一部でも実施しない場合は不適切です(本調査には「×」と回答してください)。	100.0%	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	
	g	子宮頸部上皮内腫瘍3(CIN3)、子宮頸部上皮内腺がん(AIS)、子宮頸部浸潤がん発見例は、過去の細胞所見の見直しを行う体制がありますか？ ※CIN3、AIS、子宮頸部浸潤がんの発見例については必ず見直すこと。一部でも実施しない場合は本設問には「×」とご回答ください。	66.1%	○	○	○		○	○	○	○		○	○	×		○	×	○	○	×	×	
h	標本は少なくとも5年間保存していますか？	100.0%	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○		
遵守率			89.1%	100.0%	85.7%	100.0%		100.0%	87.5%	100.0%	87.5%		87.5%	87.5%	71.4%		87.5%	87.5%	100.0%	100.0%	87.5%	87.5%	
4 システムとしての精度管理	(1)	受診者への結果の通知・説明は自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている ②行っていない		1	1	1		1	1	2	1		1	1	1		1	2	2	2	2	2	
	(2)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市町村への結果報告は、検診受診後4週間以内に行われていますか？ ※(1)で②(行っていない)と回答した場合は、結果通知の委託先に確認してお答えください。	94.6%	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	
	(3)	昨年度(令和5年度)の貴施設の受診者数、要精検者数、精検受診者数、発見者数を市町村(集合契約の場合は地区医師会)に報告しましたか？ ※※集合契約で地区医師会が事務代行し市町村への報告を行っていることを確認している場合は、「○」と回答してください。	98.1%	○	○	○		○	○	○	○			○	○		○	○	○	○	○	/	
	(4)	要精密検査となった受診者の精密検査方法及び精密検査(治療)結果(精密検査の際に行ったHPV検査の結果、子宮頸部の細胞診や組織診の結果、手術によって判明した組織診断や臨床進行期など)を把握していますか？もしくは把握する体制がありますか？ ※市町村が行う地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す。 ※※集合契約で地区医師会が事務代行している場合も、把握の体制の有無についてご回答ください。	87.5%	○	○	○		○	○	○	×		×	○	○		○	×	○	×	×	○	
	a	自施設以外の子宮頸がん専門家を交えた診断・判定の精度向上のための症例検討会や委員会を自施設内に設置していますか？ ※自施設で細胞診判定を行っていない場合は回答不要です。	14.3%	/	×	×	/	/	/	/	/	/	/	/	×	/	/	/	/	/	/	/	
	b	細胞診判定を行う医師は、昨年度(令和5年度)において、診断・判定の精度向上のための検討会や委員会に参加しましたか？ ※自施設で細胞診判定を行っていない場合は回答不要です。 ※自施設内外問わず、検討会や委員会に参加している場合は「○」とご回答ください。	57.1%	/	○	×	/	/	/	/	/	/	/	/	○	/	/	/	/	/	/	/	
	(6)	一昨年度(令和4年度)の貴施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、CIN3以上発見率、CIN3以上の陽性反応適中度等)について、市町村から情報提供を受けましたか？	55.8%	○	○	×		×	×	○	×		×	○	×		×	×	○	/	/	/	
	(7)	一昨年度(令和4年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、CIN3以上発見率、CIN3以上の陽性反応適中度等)について、市町村から情報提供を受けましたか？	42.3%	×	○	○		×	×	×	×		×	○	○		×	×	○	/	/	/	
	(8)	自施設の精度管理状況(プロセス指標やチェックリストの遵守状況)を評価し、改善に向けた検討を行っていますか？	62.5%	×	○	○		×	○	○	×		×	○	○		×	○	○	×	×	○	
	(9)	都道府県の生活習慣病健診等管理指導協議会、市町村、医師会等から指導・助言があった場合は、それを参考に改善に努める体制はありますか？	98.2%	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	
遵守率			67.8%	71.4%	100.0%	75.0%		57.1%	71.4%	85.7%	42.9%			100.0%	87.5%		57.1%	57.1%	100.0%	60.0%	60.0%	100.0%	
備考欄							回答なし					回答なし			回答なし		結果がクリニックに届かないため、患者の承諾がなければ結果が把握できない。		令和5年度よりがん検診実施。	令和5年度よりがん検診実施。	令和6年度よりがん検診実施。		